

# 「あなたの家」

～あなたの建て方は決まっていますか？～

I コリ 3 : 9 ~ 20

みなさんは、ゴディバと言うチョコレートを知っていますか？このゴディバとシンボルマークの意味を知っていますか？領主レオフリック伯爵とその美しい妻レディ・ゴディバの伝説は、1043年、英国の小さな町コベントリーで生まれました。レオフリック伯爵は、コベントリーの領主に任命され、この小さな町を豊かで文化的な都市へ発展させようと決意しました。大変信心深かったレオフリック伯爵とレディ・ゴディバは、初めに大修道院を建設しました。修道院はさまざまな宗教的、社会的活動の中心となり、この成功により伯爵の野心はますます燃え上がり、次々と公共の建物を建てては、領民から取る税を増やします。あらゆるものを課税の対象とし、肥料にまで税金をかけ、領民は重税に苦しみます。心優しいレディ・ゴディバは、貧しい領民にさらに重税を課すことがどんなに苦しいことか、伯爵に税を引き下げよう願ひ出しました。伯爵は断りましたが、彼女は何度も訴えます。ついに議論に疲れた伯爵は、彼女に告げます。「もしおまえが一条まとわぬ姿で馬に乗り、コベントリーの町中を廻れたなら、その時は税を引き下げて建設計画を取り止めよう。」翌朝、彼女は一条まとわぬ姿で町を廻りました。領民たちはそんな彼女の姿を見ないように、窓を閉ざし敬意を表しました。そして伯爵は約束を守り、ついに税は引き下げられました。ゴディバはこの誰かのために自分を犠牲にする精神を引き継ぎ、また、このチョコレートを食べる時にその思いを食べた人に伝え、その人の人生が変わればいいと思い、このブランド名にしたそうです。イエスキリストの犠牲の愛を思い起こして、感謝を表す聖餐式のようにですね。

ひとりの決断は、この様に人を変えていきます。自分の中にある問題をほったらかしにしては関わる人に害が及びます。また、問題を抱えている人をほったらかしにしたり、裁いて自分を優位に保つことをしているとその人が減ってしまいます。このレディ・ゴディバのように自分を犠牲にして隣人の問題を解決する決断をしていきたいですね。

## ■ 家を建てるなら…

今回の聖書箇所は、I コリ 3 : 9 ~ 15 です。タイトルは『あなたの家』副題は『あなたの建て方は決まっていますか？』です。家を建てるならどんな家を建てたいですか？何で家を建てるのですか？家を建てる時には、その家にどんな人が集まるのか、目的を考えます。その目的を達成するために頑張る家の内容を決めます。そこで妥協してしまうと目的が達成できなくなってしまいます。しかし、こここだわらなくて良い余計なものは省きます。脱線は不要です。目的があるから、不要なものは省き、譲れないものは譲れないのです！この目的を達成するために、長い時間をかけていろいろと考えます。プロセスが必要になってきます。しかし、私たちはすぐに「どうなんだ！」と答えを求めます。プロセスは必要です。プロセスには行動が含まれます。自分や誰かの問題に気づいた時、祈って「神さまお願いします」で終わりですか？いろいろと行動すると思います。神さまは私たちの行動を通して誰かに働きます。

## ■ 家を建てるために必要なこと…

### ① 目標とプロセス

もう一度自分の目標とプロセスを確認してください。自分は何のためにいるのですか？自分の夢と願ひをもう一度思い起こしてください。自分や誰かの問題に気づいた時、どうやったらこの問題が解決するかを考えましょう。プロセスで裁く行動は必要ありません。聖書には「しかし、わたしはあなたがたに言います。悪い者に手向かってはいけません。あなたの右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい。あなたを告訴して下着を取ろうとする者には、上着もやりなさい。(マタイ 5 : 39・40)」とあります。「北風と太陽」の物語と同じです。誰かに変わって欲しいと願うなら、その人に厳しいことをしても裁いてもダメです。余計落ち込んでしまいます。暖かくしてあげなければ人は変わりません。ですから良い方法で問題を解決するプロセスを探していきましょう。

## ■ 家を建てるために必要なこと…

### ② してはダメなこと！！

これは大事です！最近、自分の分からないことは聞きたいけど、いろいろと指図されるのは嫌い。自分の知りたいことだけ教えてくれれば他の大切なことは聞きたくない…という人が増えています。ですから、最近「しても良いこと」だけを伝える様になっています。人がロボットになっています。「してはダメなこと」を伝えなければいけません。私たちが、家を建てる時にも「してはダメなこと」があります。しかし個人で違います。ある人は「怒ってはいけない」だし、ある人は「言葉に気をつける」などです。「してはダメなこと」を神さまは教えてくれています。自分の「してはいけないこと」が分かっていますか？これが分かっていると自分もダメになるし、自分と関わった人もダメになってしまいます。ですからこの「してはダメなこと」が克服できるまで神さまは私たちを訓練してくれます。紅顔の美少年だったダビデもそうです。王になるまでに訓練にあっています。時があるのです。成長はステップなので少しずつ「してはダメなこと」を訓練して克服していきましょう。御言葉に I コリ 3 : 16 ~ 20 があります。神さまのことを伝えるために私たちにはその人たちを招く家を建てるように言われています。自分がその家をダメにするなら神さまは私たちを滅ぼさなくてはならない…そうしないために神さまは私たちを今神さまの御元におかれているのです。「してはダメなこと」=「自分を欺くこと」です。そして愚かにならなければ学ぶことが出来ないで知者になることが出来ません。自分を欺かず、してはダメなことを克服して知者になって目的にあった家を建てるものになりましょう。

## ■ 家を建てるために必要なこと…

### ③ 知っているに注意！！

### 行うがすべて！！

知っているだけでは意味がありません。例えば高校受験があります。行きたい高校があると知っているが勉強しない。で、合格しますか？自分がやらなければいけないことを行動にうつしましょう。自分のやらなければいけないことは？それは②で知った、してはダメなことを克服することです。「怒ってはダメ」な人は怒らないこと、「赦さなくてはダメ」な人は赦すことです。してはダメなことを知っているだけではダメなんです。行うがすべてです。御言葉にヤコブ 1 : 21 ~ 26 があります。ぜひ実行していきましょう。このファーストステップは「言葉」です。26 節に「もし人が信心深い者だと自任しながら、舌を制することをせず、自分の心を欺いているならば、その人の信心はむなしのもの (=偽り) である」とあります。またヤコブ 1 : 19 ~ 21 もあります。御言葉とは神さまからのメッセージです。この神さまからのメッセージを実行していきましょう。

## あなたの家はどんな家？

自分は、どのように人と関わっていますか？人によっては学校かも、病院かも…。小さなワンルームの一人暮らしの家にしなないで下さい。自分の家に多くの人を招いて、多くの人を神さまの恵みによって変える家を建ててください。そのために建てるためにどうすればいいのか？をお祈りの中で神さまに求めていきましょう。